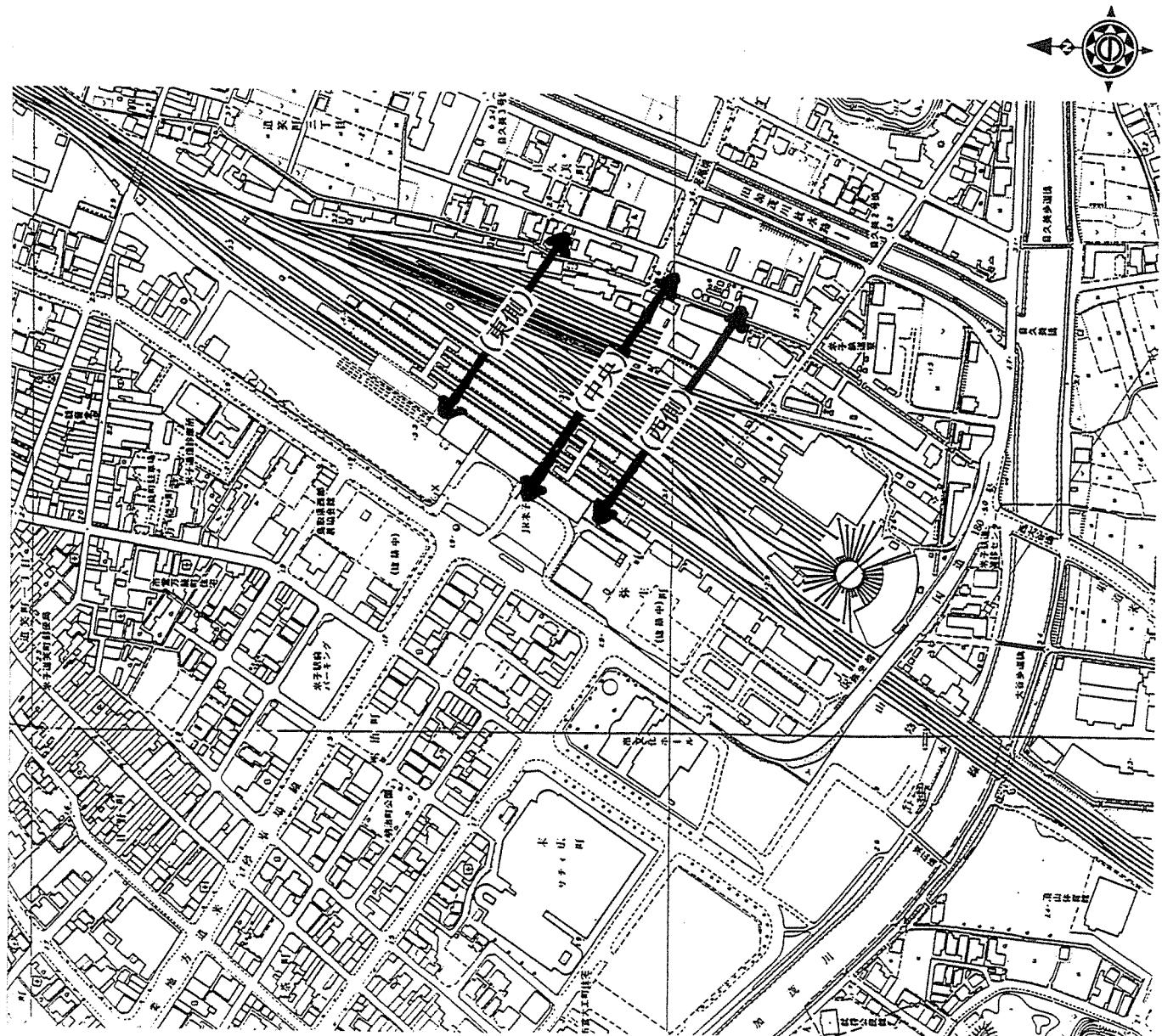


(1) 自由通路の位置検討

自由通路の位置検討は、以下の点に留意して検討を進める。

- ・歩行者の円滑な動線を形成するため、駅前広場の範囲内が望ましい。
- ・駅の両側を連絡し、一体的な市街地を形成できる位置であること。
- ・バス乗降場などの諸施設、さらには沿道の建物と連携を図れる位置。
- ・自由通路に併設して駅を橋上化した場合、駅利用者の利便性を考慮した位置とする。
- ・極力支障する建物が少ない位置とする。

したがって、以下の3案が考えられる。



	東側案	中央案	西側案
自由通路利用者の利便性	都計道米子駅目久美町線から外れるため歩行者の円滑な動線が形成できない。 北側駅前広場の東端となり分かりにくい位置となる。 ▲	都計道米子駅目久美町線と北側広場の中央を結ぶ位置である。駅前道路の中心線となるため、歩行者の動線としては、もつともスムーズである。 米子停車場線から見て正面となり利用者に分かりやすい位置である。 ○	都計道米子駅目久美町線の西側になる。歩行者の動線として、やや利便性が悪い。 米子停車場線から見て若干分かりにくい位置ではある。 ○
駅利用者の利便性 (自由通路に併設して橋上駅とした場合)	ホームの中央部となり駅利用者の動線として好ましい。ホームへ降りる階段は両袖が可能。 ○	現在の駅舎の位置と同じとなり、駅利用者にとっては問題ない位置。 ホームへ降りる階段は両袖が可能となる。 ○	ホームの端部となり駅利用者の動線として好ましくない。 ホームへ降りる階段は片袖となる。 △
施工性	自由通路の延長は最も短いが、既存のホーム跨線橋に支障する。 基地の検修設備に支障する。 ○	現在JR米子支社が入居しているビルの2階部分に取り付けしたときに、構造的に問題が生じないかの検討が必要。仮駅舎の必要性も考えられる。 △	自由通路の延長が最も長くなるが、車両基地内は支障する線路が最も少なく施工しやすい。 ○
支障建物	当該案の南側駅前広場は、都計道米子駅目久美町線の東側となるためマンションに支障する。 北側の階段部分は、交番に支障する。 車両基地内の検修庫にも支障する。 △	南側の階段部分は道路付近となり、好ましい位置。 北側はJR米子支社のビルに支障する。 南側駅前広場の想定位置に運転所、給水設備、もしくはマンションがあり支障する。 △	車両基地の南側にある資材センター倉庫に支障する。 北側に付いても鉄道荷物の建物に支障する。 北側駅広バス停の改良が必要。 運転所、給水設備に支障する。 △

その他	<p>北側駅前広場の修正が若干必要となる。</p> <p>グルメフロアが自由通路のかげとなり、見にくくなる。</p> <p>南側の階段位置は、駅前広場の設置がむずかしい。</p>	<p>ビルの2階部分に自由通路を設置するためJR米子支社の移転または改良等が考えられ、それに対してJRの同意を得ることが必要となる。</p>	<p>現在の駅前広場計画を修正する必要がある。</p> <p>自由通路南側の階段がJR用地内となる可能性がある。</p>
総合評価	<p>歩行者動線が東に片寄りすぎる。</p> <p style="text-align: center;">▲</p>	<p>JR米子支社ビルを通過することが了解されれば最も妥当な位置と考える。</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>歩行者動線がやや西側となる。</p> <p>また、駅を橋上化した場合、駅舎がホーム端部となり駅利用者の利便性が悪い。</p> <p style="text-align: center;">△</p>